

して居られると丸で惠比須様の様な顔で居る。

其の時に皇帝の御氣に入りの家來で、東方朔といふ人が御側に見て居た。此の人が一寸隙をねらつて其の薬瓶を取つて持つたかと思つると、たゞ一口に飲みほして仕舞つたので、さあ怒つたとか怒るまいとか酸漿よりも赤くなつて、ぶる／＼振ひながら皇帝は劔を引き抜て

皇「此奴ッ。首出せ。打ち落すぞ」

といつて、立ち上ると、東方朔は

「東はつて私を御斬りなされる？はい私が死にましたら、薬は不死薬ぢやありませんまい、薬が利くといふなら、私は死はしませんと申し上げたとさ」

●考(物)

●前號の解

(一) 鰯(五八四) (二) 鯖(三八)

●英語者へ物の解

- (一) m
- (二) teacher (チー茶)

●この次は

- (一) 福の何時でも見出さるゝ事のできる所は何處？
 - (二) 千〇九を三分して家道具の名一つ
 - (三) 苗字の數ばかり合はすと百二十一になり名前の數を合はすと十三になる昔の英雄は誰？
- 問題 提出者 福島縣 狂 生
- (一) 禿げ山もゐるに富山縣とは是れ如何
 - (二) 五穀もできるに粟(阿波)の國とは是れ如何
 - (三) 人家稠密なるに明(安藝)の國とは是れ如何

豫告

次號からは、毎號、インツブ物語を譯載するこゝに致します